

とちぎ夢大地応援団活動報告（3月5日実施）

那須町横岡地区

那須町横岡地区のとちぎ夢大地応援団活動が3月5日、同地区高瀬集落の里山で応援団員や地元の人たち33人が参加して開かれ、ホタル生息地保護のために篠竹等を伐採してイノシシ侵入防止緩衝地帯をつくる作業を行いました。

平成27年度とちぎ夢大地応援団活動の新規推進地区である同地区の活動には、ボランティア組織ナルク栃木の会員など応援団員15人、県等関係者4人、活動の受入れ団体である高瀬地区集落営農組合（薄葉進代表）の組合員14人が参加しました。

作業は、竹藪から太く育った竹をノコギリで切り出し、2カ所に集めチップパーで粉碎するかなりハードな内容でしたが、応援団員は作業を分担し手際よく片付けていました。地元の人たちも見る間に竹藪がきれいになっていくのを見て「こんなに早く作業が進むとは思わなかった」と、応援団員のがんばりに驚いていました。作業は昼食をはさんで午後も1時間ほど行われ、予定した箇所がすべてきれいに片付けられました。応援団員たちは「今回の作業はきつかったが、きれいに片付き地元の人に喜ばれてよかった」と感想を話していました。



きれいに出来上がったイノシシ侵入防止緩衝地帯を背に記念撮影



薄葉集落営農組合代表（右端手前）の歓迎あいさつを聞く応援団員ら



竹は太く大きくなっており、1本1本ノコギリで切り出しました



切り出した竹は2カ所に集められチップパー（中央の機械）で粉碎します



午前と午後の作業でイノシシ侵入防止のための緩衝地帯がきれいになりました



昼食は道路にビニールシートを広げて



地元の女性たちの手づくり豚汁や漬物が振る舞われました